

□■受験対策ミニ講座 8号 2020□■ (養成所ニュースプラス第 14号)

新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中でも各地から紅葉の便りが届き、収穫の秋はやってきました。この時期、滋養のあるものをしっかりとって、免疫力を高めておくことも大切です。

今週は、国連の核兵器禁止条約発効の条件が整ったというニュースが届きました。創設から 75 周年を迎える国際連合の様々な活動は、国家試験の頻出事項のひとつでもあります。今回は SDGs についての知識が問われました。

■Plus Quiz

【問題 8】国際連合が掲げている「持続可能な開発目標」(SDGs)の目標に関する次の記述のうち、最も適切なものを 1 つ選びなさい。(32 回 28、現代社会と福祉)

1. 2000 年に制定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の目標を破棄し、それに代わる目標を掲げている。
2. 経済成長、社会的包摂、人口増加抑制策の調和が持続可能な開発を達成するために求められている。
3. 持続可能な開発の達成には、政府の手を借りることなく民間セクターによる行動が必要とされている。
4. 貧困に終止符を打つとともに、気候変動や環境保護への取組も求めている。
5. 目標実現に向けた進捗状況のフォローアップと審査の責任は国際連合にあるとし、独立した国際的専門機関を設置している。

答えと解説は最後に記載してあります。

■Plus Column

【スカイツリーも 17 色に】

「国連デー」の 10 月 24 日、東京スカイツリーは 17 色にライトアップされました。「SDGs 推進の機運を高める」という目的で 10 日間続けられるそうです。「17 の目標と 169 のターゲット」からなる「持続可能な開発目標 Sustainable Development Goals」は、2015 年の国連総会で加盟 193 すべての国と地域が賛同して採択されました。政治体制も軍事力・経済力も違う国々が「世界の進むべき方向」で一致したということは、国連の歴史の中でも画期的なことに違いありません。

「17 の目標」は、「1 貧困をなくそう・2 飢餓をゼロに・3 すべての人に健康と福祉を」と始まります。教育・ジェンダー平等・水資源・エネルギー問題などへと続き、「12 つかう責任、つくる責任・13 気候変動に具体的な対策を」、そして後半は「海と陸の豊かさを守ろう」などの提言となっています。まさに「福祉と環境」が世界共通の課題であることが実感される内容です。

目標の実現に向けて各国はそれぞれの法体系やルールを持ち寄って、新たな国際ルール作りを始めており、企業や個人にも具体的な行動が求められています。風力発電、太陽光発電などの技術開発やコーヒー飲料メーカーがプラスチック製のストロー使用中止を宣言したことなども、これにあたります。

SDGs に取り組んでいない企業に対する投資は敬遠されるため、今や SDGs は企業戦略のひとつともなっています。世界の共通語となった SDGs について、私たちがソーシャルワーカーとして、しっかり学んでいく必要があります。

参考文献

国連広報局『国際連合の基礎知識第 42 版』関西大学出版 2018 年
蟹江憲史『SDGs (持続可能な開発目標)』中公新書 2020 年

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【Plus Quiz 答えと解説】

「SDGs の学習はこれから」という人も、気候変動や貧困格差など、世界の動きへの関心に基づけば答えられない問題

ではありません。じっくりと読み込んでみましょう。

1. ×2000年のミレニアム開発目標 MDGs が達成できなかったことを引き継いでいます。
2. ×「経済、社会及び環境の三側面を調和させるものである」とされています。
3. ×「公的資金はきわめて重要である」としています。
4. ○
5. ×SDGs 達成のプロセスは「自主的で各国の主導」とされています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus